

建材 マンスリー

No.694

8

AUGUST
2023

特集

永遠に続く森 ～先人たちの挑戦～

好木心

新旧の技巧で誕生した
復興のシンボル「久杉橋」

注目企業を訪ねる

鳥居食品株式会社



永遠に続く森

～先人たちの挑戦～

東京都心、若者でにぎわう原宿駅からすぐという立地にまるで別世界のように澄んだ空気と静寂に包まれた広大な森が広がっている。面積およそ70万㎡、東京ドーム約15個分に相当するこの地は明治神宮の鎮守の森だ。樹林地は立ち入ることができないこの森は、実はもともとあったものではなく今からおよそ100年前に何もなかった原野に人の手で造られた森なのだ。今号では、明治神宮の造営に携わった林学者・上原敬二氏の甥であり神宮の森の生物相調査*1で植物主査を務めた樹木学者の濱野周泰氏にインタビュー。“永遠の森”を目指した当時の学者たちの思いをたどりながら、現在の森を歩いてみた。



ちかやす
濱野 周泰氏

1953年東京都生まれ。1976年東京農業大学農学部造園学科卒業。1999年東京農業大学地域環境科学部造園科学科教授。2019年より同客員教授。専門は造園植物学および造園樹木学。著書に「原寸図鑑 葉っぱでおぼえる樹木」「世界の巨樹と絶景の森」などがある。

第二線の林学者たちが集結し
“永遠の森”の造営に挑む

大鳥居をくぐり一歩足を踏み入ると、そこは都会の喧騒とは無縁の神域だ。明治神宮本殿を取り巻く内苑に広がる、手つかずの自然林のようなこの森は、世界的にも類を見ない珍しい人工林であるという。

明治神宮が創建されたのは1920年(大正9年)のこと。明治天皇が崩御され、御陵は京都府の伏見桃山に造られたものの、「東京にも神霊をお祀りする神宮を」との市民の声に後押しされ創建計画が始まった。「明治天皇と皇后の昭憲皇太后をお祀りする神社ということで、候補地は40カ所にも上ったと言われていました。様々な候補地の中から地形や立地条件などが検討され、最終的に現在の地、代々木御料地に決定されました。ここはかつて井伊家の下屋敷であり、明治以降は正式名称を『南豊島御料地』として皇室の所有地となっていた場所です。明治天皇が皇后のために自ら設計に携わり御休所を建てさせたり、花菖蒲を植えさせたりして整備し、昭憲皇太后は何度も足を運んで散策されたといえます。この頃、広大な御料地内は大部

分が何もない原野でした。しかし、神霊をお祀りする神社には鎮守の森が不可欠として、社殿だけでなく林苑の造営も決まりました」

神霊をお祀りし、人々が静かに祈りを捧げる御社殿を囲む神域は、「永遠の森」でなくてはならない、とされた。そこで造営には日比谷公園を設計した林学博士の本多静六氏、本多氏の弟子であり同じく日比谷公園の設計に関わった造園学者の本郷高德氏、東京帝国大学大学院で森林美学を学ぶ学生であり、のちに日本の造園教育の礎を築いた上原敬二氏ら第一線の学者たちが集められた。

「本多氏をはじめ専門家たちは、神社境内のあるべき姿として多層性や多層性を重視した樹林論を掲げていました。広葉樹や針葉樹など樹種を混ぜて植樹し、高木層・中木層・低木層と樹高を多層構造にする。様々な種類の大木が生い茂り、人の手を加えなくとも自然の力で世代交代を繰り返して永続する森を目指して設計を進めようとしていたのです。しかし、そこに立ちはだかったのが、当時の内閣総理大臣であり神社奉祀調査会*2の会長も務めていた大隈重信侯爵でした」

*1: 鎮座百年記念 第二次明治神宮境内総合調査
*2: 明治天皇を奉祀すべき神社の創建について内閣が設置した調査会

時の総理大臣を説得し
代々木の地に適した
広葉樹の森を設計

本多氏らは、この地で長く育つ森にするためにはカシやシイ、クスなど常緑広葉樹が極相林*3を構成する森づくりを行うべきと主張した。しかし大隈侯は、そのような樹林論は「敷づくり」であり、鎮守の森にはふさわしくないと反対。伊勢神宮や日光東照宮のように、スギを中心とした荘厳な針葉樹林を造り上げるべきと主張したのだ。

専門家たちは断固としてこれに反対した。なぜなら、スギの生育には谷間で水気が多い場所こそが適した環境であり、乾燥した代々木の土地



明治神宮本殿。明治天皇と昭憲皇太后をご祭神としている

では長く育たないと知っていたからだ。本多氏は大隈侯に面談し、

代々木の土質はスギに適しておらず、伊勢神宮のような森は成立しないと申し述べた。しかし大隈侯は、代々木には清正杉と名付けられた巨木が育っ

ている、不適地として片付けるのではなく適地となるよう学者として研究すべきではないかと説明。本多氏の最初の説得は失敗に終わる。

「そこで本多氏は、再度大隈侯との対談に臨むべく、生育適地である秋田県と不適地である代々木の両地

におけるスギの成長状態を科学的に分析しました。彼らは樹幹解析法という方法を用いてスギの断面図から樹齢別の樹高と直径を数値化した図と表を作成したのです。そして、清

正杉の立つ場所は代々木御料地の中でも稀に水源に近く巨木となる条件があっただけで、その他は不適地である、スギでは「永遠の森」にはな

り得ないと説明しました」
本多氏らの科学的な根拠に基づいた資料を前に、大隈侯は了承こそしなかったものの、以降は反対意見を述べることになったという。こうして論争が決着し、林苑計画は専門家たちの手に委ねられた。

「当時の植物学者たちは、樹木と環境、そして土地の能力との関係を的確に把握し、永遠に続く森の姿を思い描きながら、反対意見にもひるまず『適地適木』を目指しました。もしも科学者としての信念を曲げて言われた通りにスギの森を造っていたら、今の明治神宮の姿はなかったはずです」

こうして、鎮守の森の造営が開始された。設計に際しては、上原氏が全国80力以上の官幣社を調査した結果が参考にされた。中でも神宮の森づくりに多大な影響を与えたのは、仁徳天皇陵の墳丘の森(大阪・堺)だった。

*3 極相林：植物群落が遷移を経て極相に達した林

02 “永遠の森”の設計に挑んだ学者たち



本多 静六氏 本郷 高德氏 上原 敬二氏



東京・原宿駅西口に面し原野だった代々木御料地
03 造営前 04 現在の姿

森が本来持つ力に委ね
葉っぱ一枚すら持ち出さない

「日本の古墳や多くの陵墓は立ち入り禁止となっており、長い歳月を経て原生状態の森になっていきます。上原は仁徳天皇陵の森を観察し、極力人の手を加えず森厳性を保つ環境こそが明治神宮の森の理想だと確信し



たようです」
専門家らは、内苑を永遠の森とするため、次のような原則を打ち立てた。まず、社殿地と参道以外は一体的な樹林地とすること。そして、樹林地内は人の立ち入りを禁止すること。さらには、落ち葉の一枚に至るまで森に返し、参拝者が持ち出すことも禁止したのだ。

「手つかずの森では落ち葉が降り積もり、微生物によって分解されて腐葉土となります。また、たとえ倒木があっても腐って土に還っていきま

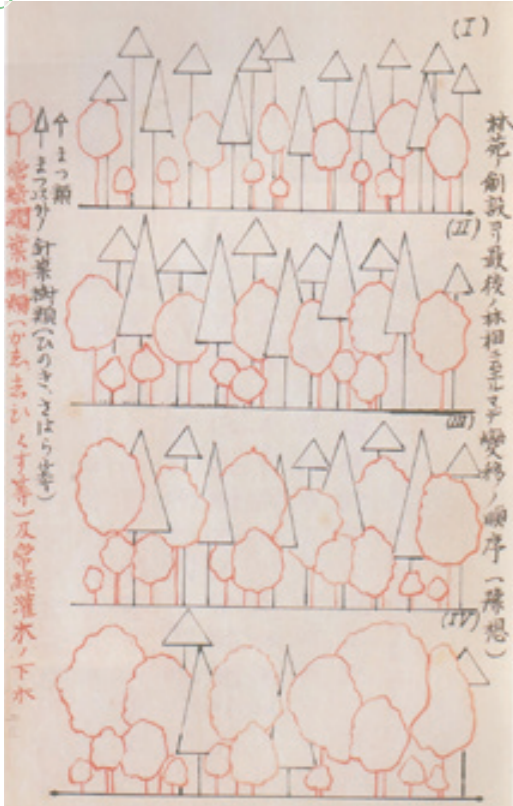
100年前の先達からの
未来への預かりもの

「造園作業には青年団のボランティアのべ10万人が参加しました。夜間に献木を運搬し、早朝に林苑に運び込み、専門家らの指示のもと植栽を行ったそうです。実は、献木に関する資料はあるものの、林苑のどこに何の樹木が植えられているかという図面は残されて

「100年前の林学者たちは、およそ150年かけて永遠の森の原型が完成すると予想しました。まず、お

01~06 写真提供：明治神宮

05 本郷高德が作成した「林苑造園模式図」



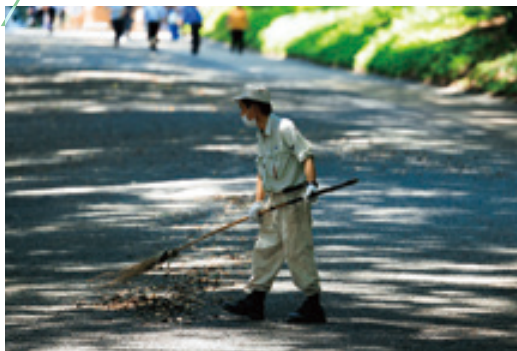
上から (I) 植栽直後、(II) 50年後、(III) 100年後、(IV) 150年後の変化予想が描かれている



全国からの献木の様子

06

07



08



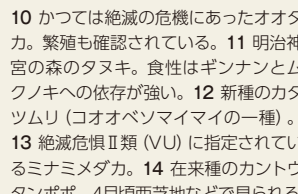
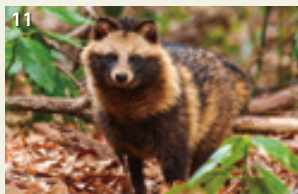
09



07 落ち葉を集め森に返す「はきやさん」
08 南参道 09 北参道 土地の性質や日照の違いなどによって森の環境が異なる。北参道では高層、中層、低層ごとに様々な樹種が混在することが見てとれる

明治神宮の森に息づく動植物

都心とは思えないほど豊かな動植物が生息する。稀少価値の高い種も息づいている



10 かつては絶滅の危機にあったオオタカ。繁殖も確認されている。11 明治神宮の森のタヌキ。食性はギンナンとムクノキへの依存が強い。12 新種のカタツムリ(コオオバソマイマイの一種)。13 絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されているミナミメダカ。14 在来種のカントウタンポポ。4月頃西芝地などで見られる

撮影：10 香川 淳 11、12 佐藤岳彦

よそ50年後にはヒノキやサワラなどが育ち、アカマツやクロマツなど高木の先駆樹種が衰退。森に光が入れば常緑広葉樹であるカシやシイ、クスなどの成長が促進されます。100年が経過する頃には常緑広葉樹の大森林となり、場所によっては針葉樹の老木が混在します。そして150



明治神宮の森の樹木数は現在約3万6000本と、1970年の調査時点から78%減少している。さらに、幹の周囲長が30cm未満の樹木も89%減少。一方で、約1700本あるクスのうち78%が幹の周囲長150cm以上となるなど、大きな個体が増加している。これは100年前の狙い通りに森が成長している証

年後には多くの針葉樹が消滅し常緑広葉樹が大木となり、落下した種子から新たに発芽した若木が育ち始めるという循環ができ、永遠の森への第一歩を踏み出すと予想されています。実際に、森の循環は予想通りに進みましたが、想定外だったのは100年経過した現在、すでに150年後の予想図を達成している点です」

さらに当時の想定以上に都市化

である。また、樹種は創建当時の365種から234種へと漸減し淘汰された。これほど森の成長が早まった背景には、温暖化の影響などがあると考えられている。「他に類を見ない森を維持してきた背景には、人間が関与しない自然の働きによって成熟されてきた土壌環境があり、それが今の森を支えているのです。こうして極相を迎えた森は安定する一方、限られた樹木で遷移をしていくため今後は生物種も限られてきます。そのため巨木が倒木した後うまく若木が育たなければ、地面の乾燥が進み、土壌環境も変化するでしょう。」

「他に類を見ない森を維持してきた背景には、人間が関与しない自然の働きによって成熟されてきた土壌環境があり、それが今の森を支えているのです。こうして極相を迎えた森は安定する一方、限られた樹木で遷移をしていくため今後は生物種も限られてきます。そのため巨木が倒木した後うまく若木が育たなければ、地面の乾燥が進み、土壌環境も変化するでしょう。」

が進んだことで、都市部に面した場所は樹種の種類も変わっています。今はちょうど森の曲がり角にあるわけです。この森は、100年前の先達からの、未来への預かりものです。現在の私たちは永遠に続く森の通過点にいるのだと肝に銘じ、森の潜在能力を信じて守っていく、綻びがあれば小さなうちに繕う役割があることを忘れてはならないと思います」

絶滅危惧種の動植物も確認され、3000種もの命が息づく明治神宮の森。生物多様性の宝庫でもある森の価値の重さを、私たちは今一度認識する必要があるだろう。

08～09、11～14 写真提供：明治神宮

新旧の技巧で誕生した 復興のシンボル 「久杉橋」



© Katsumasa Tanaka

岩

国市周東町わたせえ瀬越にひときわ目を引く美しい木の橋がある。2018年の西日本豪雨によって崩落したが、2022年7月、以前と同じ場所に再建された久杉橋だ。

この橋は、日本酒「瀬祭」で知られる旭酒造の本社蔵と直販所をつないでおり、再建費用の一部は旭酒造の寄付で賄われた。「美しく価値のあるものとして再生させたい」という住民の想いを受け、直販所の設計を担当した建築家の隈研吾氏がデザイン。見るアングルによって様々な表情を見せる、地域の象徴的な橋となっている。全長20・8m、RC造の躯体に沿って、壁高欄かきたかざん*1を県産のヒノキ材が覆っており、その数、1266本。人間の身体を基準に規模感を考える「ヒューマンスケール」を取り入れ、日本の一般住宅で最も多く使われる105mm角の材を採用した。長短をつけ、少しずつ角度を変えることで、中央に向けて山なりのカーブを描いている。道路の端にいつのまにか姿を現し、そのまま渓谷の風景に溶け込んでいくかのようなデザインだ。

上流側と下流側、またどちらの岸から眺めるかで見え方が変わる個性的な意匠は、3Dモデリングソフトに変数を入力して設計する「パラメトリックデザイン」によって生み出された。ミリ単位でのズレが致命的になる精密な設計手法だ。そのデザインの実現は容易ではなく、腕利きの型枠大工が集められたという。滑らかな曲線を表現するために多数の丁張ちやうぢやう*2を用いるなど、まさに新旧の技術が融合して完成した橋となった。

再建にあたり、災害時に流木や土砂の流れを妨げることがないよう旧橋よりも桁下高を上げた。またメンテナンス性を考慮して木材の間隔を調整し、取り外しがしやすい構造となっている。さらに、幅員を1・5m広げて新たに歩道も設けた。

のんびりと歩いて渡れば、かつてかたせ瀬がすんでいたといわれる里山の清流をヒノキ材越しに眺められる。再建を経て、久杉橋は災害の記憶を刻みながらも人々に憩いをもたらす、地域復興のシンボルとなっている。

*1 人や車が落下しないように、橋の両端に設けられる欄干

*2 土木工事において、造作物の位置や高さ、角度などを正確に示すために木杭や鉄骨等で仮設する目印

注目企業を訪ねる

付加価値創造に挑戦

木桶熟成に容器は瓶詰め “昔ながら”を逆手に取り 唯一無二のソースづくりを続ける

鳥居食品株式会社



代表取締役
鳥居 大資氏

本社 ● 静岡県浜松市中区
相生町20番8号
設立 ● 1924年
資本金 ● 1,000万円
事業内容 ● ソースの製造・販売

奇をてらうのではなく自社製品の強みと向き合い商品開発に取り組む

「事業承継を機に設備投資や新規事業に着手し、規模の拡大を目指す例は数多い。一方で、家業の原点に立ち返り、老舗の歴史を強みに変えてV字回復を果たす企業もある。静岡県浜松市で100年にわたってソースをつくり続けてきた鳥居食品は、まさにそんな企業の一つだ。」

「私が3代目に就任したのは2005年のこと。大正時代に創業した当社は、地元企業の食堂や飲食店を中心に業務用ソースを卸してきました。しかし、取引先の閉鎖などが相次ぎ売り上げは減少。借入れは無く機械の償却も終わっていましたが、設備にも人材にも投資されておらず、先代は事業を畳む算段を付けていたようでした。」

「幾度も漬け込んできたソースの風味が木桶から加わり、唯一無二の深い味わいが生まれる。しかし小売店に営業したとき、「製法も味も良いが添加物が気になる」という声を聞いた。」

「そこでこだわり着いたのが、完全無添加のソースづくりです。化学調味料を使わないため風味を一層引き立てられます。また、野菜は地元農家から規格外も含めたものを仕入れています。容器も瓶のままにして、地産地消、木桶で手づくり、環境に配慮した瓶詰め、など弱点と考えていた点を強みに変えられると考えました。約4年の歳月を費やし2014年にレシピのリニューアルを敢行。完全無添加のウスターソースと中濃ソースを主力商品として打ち出しました。」

「こうして製法そのものをブランド化する一方で、ソースの味自体にもこだわりを持っている。会社を継いで間もないころ、モニタリングやアンケートを取ることでソースの味を決めようとしたことがあった。しかし、それでは万人が好む商品となり、この方法は全国展開をする大手の方が向いていると気づいたという。ソースは地域によって微妙な差がある。そこに焦点をあてた地元の人々に愛される味を社長自らが決め、大手との差別化を図っている。」

「販路についてもルールを決めています。」

ここが注目ポイント

弱点を武器に変えて急成長

昔ながらの製法をPRし
ブランドを確立

販路を絞り地域に愛される
ソースづくりでファンをつかむ



ほとんどの工程を手作業で行う



木桶で約1カ月熟成。木は呼吸するため、まるやかで味わい深いソースが出来上がる



原材料にこだわり、野菜、果物を自社で選別して生の状態で煮込む



新鮮な野菜と果物を使い、基本に忠実に造られたソース。200ml入り各500円

「状況を打破するために新しいことに取り組まなければ、がむしゃらに新商品開発に突き進んだ。また当時の社員は多くが60代だったこともあり、先代の引退を機に若い人材の採用にも注力した。しかし、未経験者が簡単にソースをつくれるはずもなく、ベテラン社員の力を借りながら日々の業務をこなすだけで精一杯だったという。」

「原料を熟成させる桶は創業以来使い続けてきた木桶のまま。ソースを充填する機械も年代物の瓶詰め機で、プラスチック容器には対応していませんでした。資金的な余裕もなく、年季の入った設備の入れ替えは困難で、生産の効率化を図ったり新商品を開発したりするなど、小手先のことを試みでは失敗を繰り返す日々が続きました。」

「万策尽きたかと思われた頃、一般家庭向けに販売していた昔ながらのウスターソースが地域の名産品コンテストで評価される。この出来事が鳥居氏の意識を変え、「奇をてらうことなく主力ソースに向き合おう」と気持ちを切り替えるきっかけになった。」

地元以外ではあえて販路を絞る商品のファンづくりにつなげる

「同社のソースは、原料に野菜のペーストやパウダーを使わず生野菜をそのまま煮込み、木桶でじっくり熟成する製法だ。」

静岡県内では鳥居食品のソースを売りたい店ならどこにでも卸していますが、県外では10店舗未満のチェーン店との取引に限定し、それ以上の店舗を持つチェーン店の場合は特定の店舗への販売にとどめています。消費者とコミュニケーションが取れている店に卸せば、ストーリーも含めて商品を求める層とつながることができず。調味料は、一度これと決めたら別のものに変えにくい商品です。だからこそ、ファンをつくる販売戦略が有効です。今では7割を一般家庭向けにシフトし、売り上げも2倍に拡大しました。」

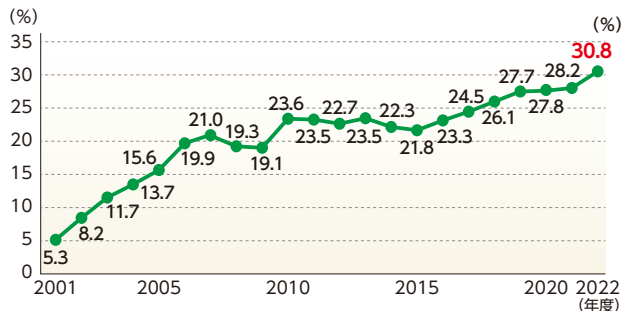
「来年の創業100周年を記念し、ウスターソース発祥の地であるイギリスでの販売も計画している。すでにアメリカやアジアへの進出も始めており、日本食を提供する現地の飲食店や小売店に、同社の味や製法にこだわったソースが選ばれているという。」

「国内ではエコやSDGsをキーワードに取り組んでいきます。資材のガラス容器が値上がりしていますが、その分を消費者に求めるのは本意です。そこで、ヨーロッパなどで定着している容器持参の量り売りの導入を考えています。規格外の野菜を用いた皮や種も使ってソースづくりを行ってきたいからこその、日本の美しい、もったいない文化を販売戦略に取り入れていきたいですね。」

2022年度の「住宅性能評価書」交付および「長期優良住宅」認定の割合が増加 — 国土交通省

2022年度の新設住宅着工戸数86万828戸に対する「設計住宅性能評価書」の交付は26万4790戸となり、交付割合は30.8%と7年連続で増加した。また「建設住宅性能評価書」の交付も19万2903戸と前年比3.5%増加した。

■ 設計住宅性能評価書交付割合の推移



2022年度の「長期優良住宅」の認定実績は、新築戸建住宅に対する割合が29.3%の11万5509戸となり3年連続の増加となった。

■ 2020年度～2022年度の認定実績【新築】

	2020年度	2021年度	2022年度	累計*	
認定実績 (新設住宅着工戸数に対する割合)	一戸建ての住宅	100,503戸 (25.5%)	118,489戸 (27.8%)	115,509戸 (29.3%)	1,446,057戸
	共同住宅など	889戸 (0.2%)	3,214戸 (0.7%)	2,527戸 (0.5%)	28,515戸
	総戸数	101,392戸 (12.5%)	121,703戸 (14.1%)	118,036戸 (13.7%)	1,474,572戸

* 累計：2009年6月～2023年3月

「環境配慮型建築材料登録事業」を9月1日から開始 — 日本住宅・木材技術センター

日本住宅・木材技術センターは7月1日に公示された「環境配慮型建築材料登録事業」を9月1日から開始する。本事業では環境負荷物質不使用、室内環境改善など、環境にやさしい環境配慮型の建築材料を評価・登録し、そうした建材を取り扱う企業の支援や利用促進、環境配慮型商品の普及につなげていく。

■ 登録の要件

対象とする建築材料は、①環境負荷物質を使わない建築材料、②室内環境を改善するための建築材料、③その他、環境配慮型として認められる建築材料。ただし、建築材料は、同センターが定める「環境配慮型建築材料登録技術基準」に基づく生産・供給体制が整備されている

ことが条件。

■ 登録証およびロゴマークの表示

登録証には、登録番号、登録品の名称、登録の要件、登録の概要、有効期限およびロゴマークなどが記載される。登録された製品またはその梱包材などにはロゴマークを表示することができる。

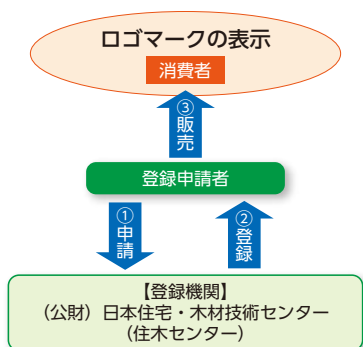
■ 登録の有効期間と手数料

有効期間は原則3年間で更新も可能。新規手数料は8万8000円、更新手数料は4万4000円。

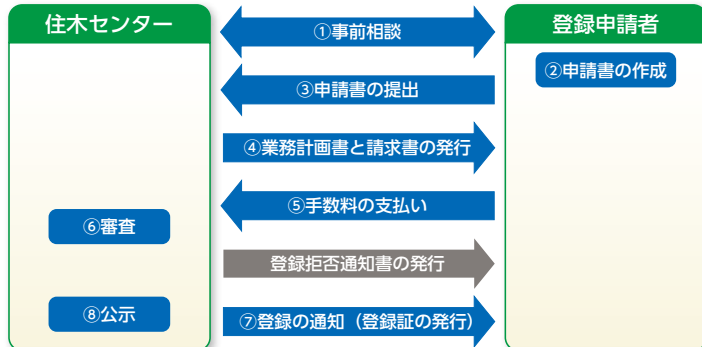
● 問い合わせ：

公益財団法人 日本住宅・木材技術センター認証部
TEL:03-5653-7581

全体の流れ



申請から登録までの流れ



編集室より

■ 弊社ホームページにPDF版を掲載中です。

住友林業 建材マンスリー 検索



■ 送付先の変更、広告掲載・誌面に対するご意見などは以下までご連絡ください。

メールアドレス: kenzai-monthly@sfc.co.jp

FAX: 03-3214-3269

住友林業株式会社 木材建材事業本部 業務企画部

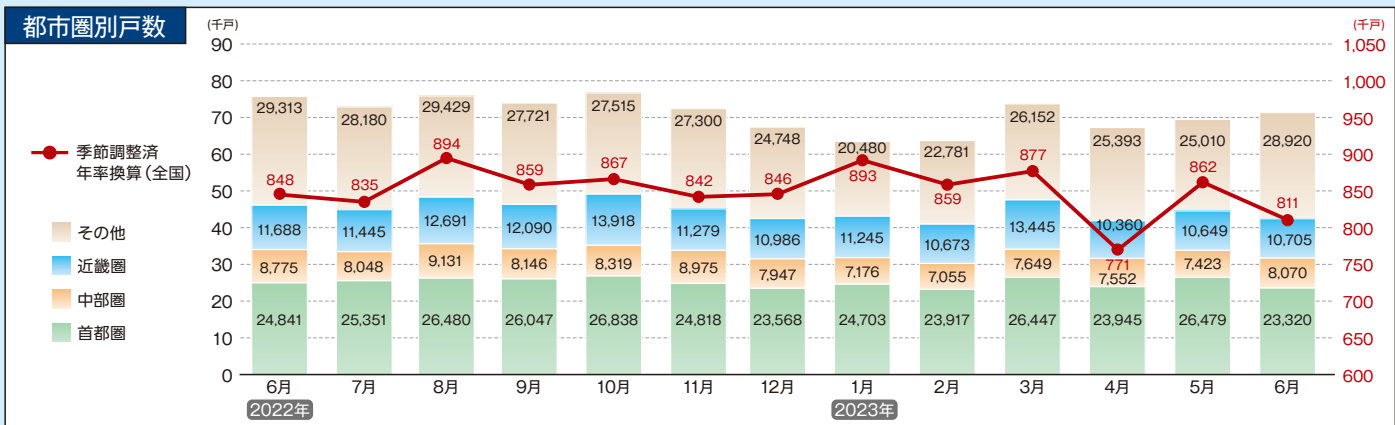
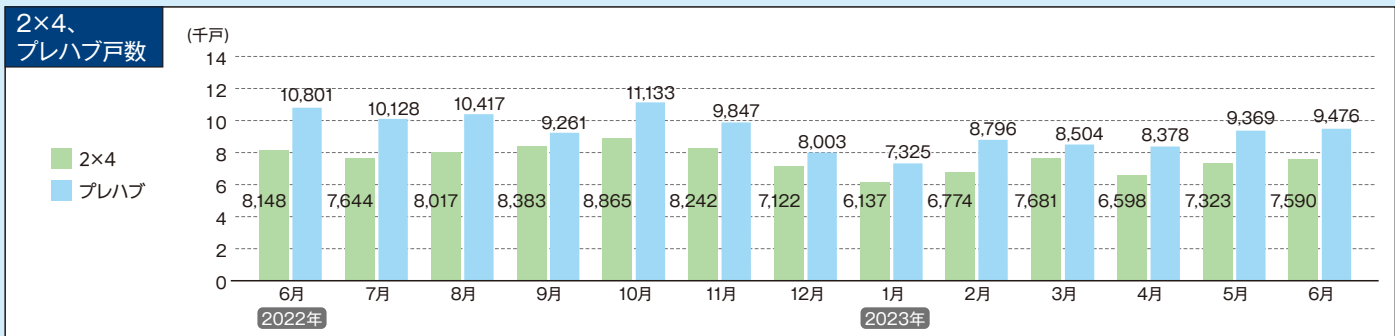
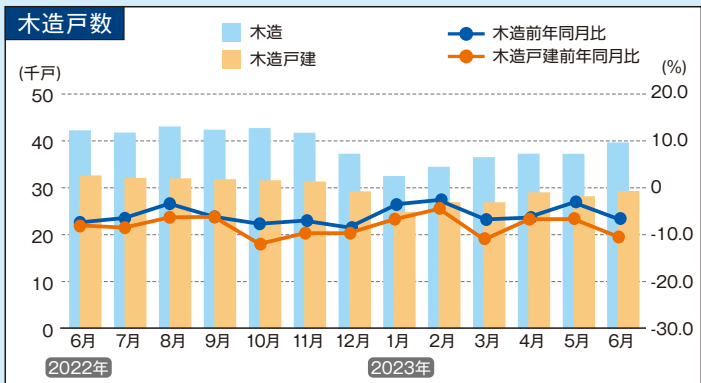
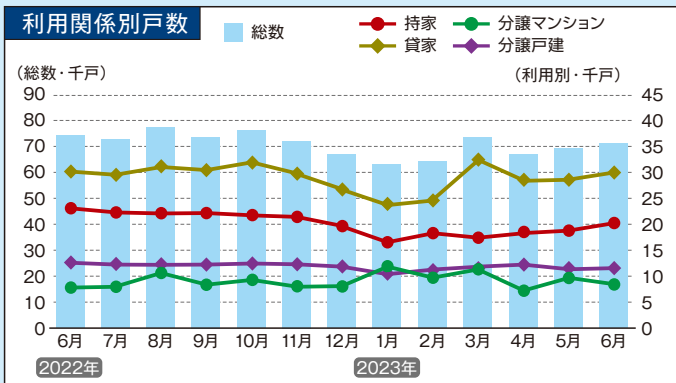
先日、夢国に行ってきました。息子(0歳)を連れて初めての入園。アトラクションも乗れないだろうし、時間を持て余す覚悟でしたが、さすが夢国！息子が映えるスポットがいくつもあり、撮影大会が開幕！パレードやショー、お土産屋さんを巡っているうちにあっという間に閉園の時間に。今までとは違う夢国での過ごし方でしたが、家族にとって幸せな一日となりました。真夏ののに懐かしくなっていたのは夢でしょうか。(H)

表紙：住友林業(株) 住宅事業本部 広島支店 吉島展示場

* 家具などのインテリア品は実際の展示と異なる場合があります

2023年6月の新設住宅着工戸数 単位：戸 ▲は減

		6月				5月	4月	3月	
		対前年同月比		対前々年同月比					
新設住宅計		71,015	▲ 3,602	▲ 4.8%	▲ 5,297	▲ 6.9%	69,561	67,250	73,693
建築主別	公共	819	▲ 47	▲ 5.4%	439	115.5%	939	1,747	2,190
	民間	70,196	▲ 3,555	▲ 4.8%	▲ 5,736	▲ 7.6%	68,622	65,503	71,503
利用関係別	持家	20,325	▲ 2,871	▲ 12.4%	▲ 5,826	▲ 22.3%	18,853	18,597	17,484
	貸家	30,112	▲ 182	▲ 0.6%	310	1.0%	28,695	28,685	32,585
	給与住宅	494	59	13.6%	12	2.5%	624	267	571
	分譲住宅	20,084	▲ 608	▲ 2.9%	207	1.0%	21,389	19,701	23,053
	うちマンション うち戸建	8,422 11,606	567 ▲ 1,083	7.2% ▲ 8.5%	1,398 ▲ 1,048	19.9% ▲ 8.3%	9,700 11,615	7,233 12,362	11,378 11,583
資金別	民間資金	64,905	▲ 3,316	▲ 4.9%	▲ 4,907	▲ 7.0%	63,847	60,793	66,813
	公的資金	6,110	▲ 286	▲ 4.5%	▲ 390	▲ 6.0%	5,714	6,457	6,880
	公営住宅	687	▲ 144	▲ 17.3%	352	105.1%	694	1,729	2,177
	住宅金融機構融資住宅	2,066	▲ 510	▲ 19.8%	▲ 946	▲ 31.4%	1,959	2,139	2,131
	都市再生機構建設住宅	0	0	—	0	—	148	0	0
	その他住宅	3,357	368	12.3%	204	6.5%	2,913	2,589	2,572
構造別	木造	39,672	▲ 2,714	▲ 6.4%	▲ 6,078	▲ 13.3%	37,259	37,177	36,531
	非木造	31,343	▲ 888	▲ 2.8%	781	2.6%	32,302	30,073	37,162
	鉄骨鉄筋コンクリート造	515	133	34.8%	▲ 139	▲ 21.3%	364	433	608
	鉄筋コンクリート造	20,043	325	1.6%	2,406	13.6%	22,040	20,085	26,863
	鉄骨造	10,733	▲ 1,298	▲ 10.8%	▲ 1,454	▲ 11.9%	9,791	9,483	9,622
	コンクリートブロック造 その他	38 14	▲ 4 ▲ 44	▲ 9.5% ▲ 75.9%	▲ 4 ▲ 28	▲ 9.5% ▲ 66.7%	40 67	40 32	35 34



(出典：国土交通省ホームページ http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html)

上から貼るだけ！ リフォーム用フローリング



床暖施工の注意事項は
こちらでご確認ください



貼り替え方法は動画にて
ご確認ください



わずか
1.5 mm
の薄さだから
納まる！



2023年3月
NEW
新色追加

建材マンスリー
NO.694
AUGUST
2023



昭和39年8月創刊 第60巻 令和5年8月1日発行 (毎月1日発行) 通巻694号
 発行人/田中耕治 発行所/建材マンスリー編集室 〒100-8270 東京都千代田区大手町1-3-2 (経団連会館)
 住友林業株式会社 木材建材事業本部 業務企画部

eminence
Reform
Floor エミネンス
リフォームフローアー



リフォームフローアー



サンプル請求

シンコール株式会社

北陸本社 TEL 076-237-7740 新潟支社 TEL 025-260-0077
 東北本社 TEL 022-765-6121 東京事務所 TEL 03-3223-5215

